

中空知で救急・在宅医療を経験した一医師の所感

奈井江町立国民健康保険病院

院長 小西 裕彦

冒頭に、この度の地震・激甚災害により甚大な被害に遭われ他界された方々に、心より深い哀悼の意を表しますとともに、残されたご家族の一刻も早いご復興をご祈念いたします。

先日、北海道医師会常任理事・情報広報部長の山科賢児先生（私の北大医局の大先輩）より上記テーマの執筆ご依頼を頂き恐縮に存じますが、お受けいたしました。

私は奈井江町立国民健康保険病院の内科医として100床規模の中小病院で30年近く地域医療に従事してまいりましたが、この中空知医療圏は砂川市立病院が中核病院として南須原前名誉院長をはじめ、今年6月に全国自治体病院協議会の会長にご就任なされた小熊豊 現名誉院長が辣腕を振るわれ、地域医療の中核病院として周辺地域住民の健康を守ってまいりました。ここ数年間で道内でも道庁所属の保健所の主導下で地域医療構想調整会議にて病床削減や空床有効利用についての議論が各市町村の組長を交えて続けられておりますが、中空知は旧炭鉱産業の衰退に伴い急激に人口減少を来しており、南・中空知もここ10年間で約7万人近く人口減少しております。人口規模が道内でも3番目の函館市でさえ、近年は1年に約3,000人ペースで人口減少しており、2017年に26万の人口も2060年には11万に減少の試算もあります。

砂川市立病院では初期研修医が約20人ほど在籍していますが、一般午後外来を休診としても、紹介患者や入院患者の診療だけで夜間まで診療時間が及ぶ現状にあります。砂川周辺の医療現状を分析しましても、基幹病院の固定医は中高年に差し掛かり疲弊しており、新たな固定医をも確保できず、募集しても希望者はいない状況です。前号でも問題提起されておりましたが、遺伝子・ゲノム医療も厚労省が全国に拠点病院を指定し、先進医療として取り組む姿勢を示しておりますが、保険適用や医療費の増大による国家予算を逼迫の課題もあり、またiPS細胞による心筋細胞や脳細胞への移植によるパーキンソン病などへの治療・応用医療も、治験を重ね安全性を確認するため、治療実現まで今後さらに数十年を要すると推測されます。またこの周辺気候も、冬は豪雪地帯で雪に閉ざされ、今まで在宅医療に携わってきた開業医も高齢化により意欲も低下し（冬は吹雪で車も運転できず、往診範囲も広大で遭難しやすく危険なため）、今後新たな「在宅医療の確保」を基幹病院に委託せざるを得ない状況に至ると想像され

ます。

私もかつては訪問・在宅診療に携わり、看取り医療にも従事しておりましたが、入院患者の診療や本州の医療会議への出席を余儀なくされ、遠隔テレビ会議への参画も煩わしく感じるようになってきました。今後、基幹病院の若手医師の地域医療への参画希望が増えることを切に願います。

地域の救急医療に従事しておりますと、脳梗塞やCOPDによる肺炎や心不全の合併により治療が長引き、フレイルが進行した場合、高齢者の2人暮らしですと、病院を退院しても引き取れる施設もなく、特養・老健施設は満床状態にあります。また地方の中小病院では固定医が1～2人しかおらず、一方の医師が自己中心的な医師の場合には他方の医師に過剰な負担がかかることもよくあります。

今後は進行癌終末期疼痛緩和医療や高血圧・糖尿病・脂質異常症の合併症での脳梗塞・心筋梗塞・肺梗塞・深部静脈血栓症などの急性期・慢性期疾患の増加が見込まれて、慢性心不全の疾病管理プログラム（DMP）で慢性心不全を地域医療で管理する体制を検討していく心血管ガイドラインの診療マニュアルも作成されて、実地医家の積極的な関与が必須となりました。心房細動と慢性心不全患者の増加が予測される医療状況下では、今後も包括的な病診連携体制の構築が重要となり、ICTや遠隔モニタリングでの医療管理を要すると考えられます。多死社会を迎え、最近「六位一体」など造語を目にしますが、医療に携わる多職種連携ネットワークの構築については、宮崎大学医学部総合診療医学講座教授の吉村先生も多職種連携教育（interprofessional education:IPE）の重要性を述べておられ、一昨年に文科省研究班により我が国の状況に応じた多職種連携コンピテンシー（行動特性・資質）が報告されております。地域で多職種連携教育に取り組むことが、一定の人材獲得に繋がる可能性を秘め、地域を救う処方箋かもしれません。

この度は空知医師会の顧問をされておられる小林公民先生には、私が町立病院赴任当時の医師会長であられ、大変お世話になりご指導いただきまして、また寄稿のご推薦をいただきありがとうございました。先生のご人徳が空知医師会の会員の結束を維持しているものと拝察いたします。

また今後も北海道医師会の一層のご発展を祈念いたします。ちなみに私の大学医局時代の旧姓は築筈と申しました。